



広島日野自動車株式会社創立80周年記念事業

NHK交響楽団コンサートマスター

Kota NAGAHARA Violin Recital

ふるさと広島に寄せる想いを奏でる

長原幸太

ヴァイオリン・リサイタル

Program

グリーグ：ヴァイオリン・ソナタ 第2番 ト長調 op.13

中村暢之：Intermezzo

横山菁児：そして 祈り

グリーグ：ヴァイオリン・ソナタ 第3番 ハ短調 op.45

他

※曲目等は変更のある場合がございます。予めご了承ください。

© 井村重人

2025 **9.27** 開場 13:30
(土) 開演 14:00

広島市安芸区民文化センター・ホール
(広島市安芸区船越南三丁目2番16号 TEL082-824-1330)



入場料 [全席自由] 一般 /4,000 円 学生 /1,000 円 当日 500 円 Up 消費税及び地方消費税含む

※就学前のお子様のご同伴・ご入場はご遠慮ください。※前売券が完売した場合は、当日券の発券はありません。

チケット取扱所: JMS アステールプラザ、コジマホールディングス西・東・南・安芸区民文化センター

主催 / 長原幸太ヴァイオリン・リサイタル実行委員会、広島市安芸区民文化センター (いきいきクラシック事業)

特別協賛 / 広島日野自動車株式会社

後援 / 広島市教育委員会、府中町教育委員会、海田町教育委員会、熊野町教育委員会、坂町教育委員会、
中国新聞社、広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島、広島エフエム放送、ちゅピCOM、FMちゅービー 76.6MHz、FMはつかいち 76.1MHz
一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会 (ビティナ) 広島中央支部、株式会社ヤマハミュージックジャパン広島店

[お問合せ] 長原幸太ヴァイオリン・リサイタル実行委員会 Tel.090-7778-2427

☆駐車場に限りがありますので、ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。また、違法駐車や近隣のお店等への迷惑駐車は絶対におやめください☆



Piano

田村 響

© 武藤章

長原幸太 (ヴァイオリン) Kota Nagahara, violin

広島出身。5才よりヴァイオリンを始める。安田学園安田小学校、広島学院中学校卒業後、東京芸術大学付属音楽高等学校を経て東京芸術大学に入学。在学中に、全額スカラシップを受けてジュリアード音楽院へ留学。13歳で第6回ヴィニエアフスキ国際ヴァイオリン・コンクール17歳以下の部第3位。17歳で第67回日本音楽コンクール最年少優勝、レウカディア賞、鷺見賞、黒柳賞を受賞。12歳で東京交響楽団と共演したのを皮切りに国内の主要オーケストラ、故・小澤征爾、故・岩城宏之、故・秋山和慶、故・ゲルハルト・ボッセ等多くの名指揮者と共演。東京春音楽祭、宮崎国際、霧島国際、など各地の音楽祭に出演し好評を博す。海外では、アメリカ「アスペン音楽祭」、イギリス「湖水地方音楽祭」、「ライディール音楽祭」、「香港国際音楽祭」等、多くの音楽祭に招かれ、リサイタル、コンチェルト、室内楽コンサートに出演し、絶賛を博し高い評価を得る。東京春音楽祭ではリカルド・ムーティ指揮の特別オーケストラでコンサートマスターも務めムーティから信頼を得る。広島市長賞「広島フェニックス賞」、広島県教育長賞「メイプル賞」、大阪市「咲くやこの花賞」、「広島文化賞新人賞」、「第21回新日鉄音楽賞フレッシュアーティスト賞」など多数受賞。2012年3月まで大阪フィルハーモニー交響楽団首席コンサートマスター、2014年10月から2024年9月まで読売日本交響楽団コンサートマスターを務める。2025年4月よりNHK交響楽団第1コンサートマスターに就任。現在ソリスト、室内楽奏者として国内外で活躍中。洗足学園大学非常勤講師、各種セミナーの講師を担当等、後進の指導も行っている。アンサンブル天下統一メンバー。リサイタルのライブ録音のCD「長原幸太ヴァイオリンリサイタル2013」、「アンサンブル天下統一ベートーヴェン弦楽三重奏曲全集」(オクタヴィア・レコード)が好評発売中。

公式ホームページ：<https://www.kotanagahara.com/>



田村 響 (ピアノ) Hibiki Tamura, piano

2007年ロン・ティボー国際コンクールにおいて弱冠20歳で第1位に輝き、一躍世界に注目されるに至った。

2009年ビシュコフ指揮ケルン放送交響楽団の定期演奏会にデビューしその後日本ツアーを行った。

これまでに、N響、読響、都響、新日本フィル、日本フィル、名古屋フィル、京響、大阪フィル、日本センチュリー響、東京シティ・フィル、神奈川フィル、仙台フィル、群響などと共演。

音楽活動は日本をはじめ、フランス、オランダ、ドイツ、オーストリア、ポーランド、イタリア、ロシア、エジプト、ブラジル、中国、台湾、ベトナムに及ぶ。これまでに4枚のソロCDをリリース。

室内楽活動にも力を入れており、アントニオ・メネセス、宮田大、神尾真由子、三浦文彰の各氏等と共演を重ねるほか、同世代のアーティストとも多数共演する。また、2019年にはマニユエル・ルグリがプロデュースするバレエ作品にも出演。

これまでにアリオン賞、出光音楽賞、文化庁長官表彰・国際芸術部門、安城市市民栄誉賞、ホテルオークラ音楽賞、文化庁芸術祭賞音楽部門新人賞、愛知県芸術文化選奨文化新人賞、京都市芸術新人賞、京都府文化賞奨励賞などを受賞。現在京都市立芸術大学准教授として後進の指導にも力を入れている。



©武藤章

